

院内感染予防マニュアル改訂履歴 (2018 年度以降)

発行日	改訂箇所	内容
2018 年 5 月 1 日	第 8 版発行	全面改訂
2018 年 12 月 1 日	指針	4.感染対策のための職員研修に関する基本指針 修正
	第 8 章	I .医療器具・処置関連防止対策 1.血管内留置カテーテル関連血流感染予防策 4)中心静脈カテーテル(CVC)における感染防止策 (3)CVC 挿入後 ③輸液ラインの管理 インラインフィルター使用 修正
2019 年 2 月 1 日	第 1 章	I .感染予防策の実際 1.標準予防策 3)標準予防策の実際 (8)安全な注射手技 複数回使用バイアル期限(開封日から 28 日間) 修正
	付録	院内採用消毒薬 「産婦人科用イソジンクリーム 5%」期限 修正 血液培養採取方法 追加
2019 年 7 月 1 日	第 1 章	I .感染予防策の実際 1.標準予防策 (11) 医療廃棄物の取り扱い バイオハザードマークの種類 修正 廃棄物の分別方法 修正
2019 年 8 月 1 日	第 1 章	I . 感染予防策の実際 2. 感染経路別予防策 (1) 病室管理(空気予防策 陰圧確認方法) 修正
	第 5 章	III. 結核患者に対する感染予防策 1.部門別感染予防策 2)気管支鏡検査実施時の対策 修正 3)手術室での対策(結核が疑われる場合の対応) 修正 5)入院患者対応 (1) 入院患者で結核が疑われる場合(陰圧確認方法) 修正
	第 8 章	I . 医療器具・処置関連防止対策 1.血管内留置カテーテル関連血流感染予防策 4) 中心静脈カテーテルにおける感染防止策(挿入部位、消毒方法、プロポフォール投与時) 修正 5) 末梢静脈カテーテルにおける感染防止策(アルコール禁の消毒) 修正 6) 病棟における輸液調製 修正 2.カテーテル関連尿路感染予防策 4) 感染防止策(カテーテル挿入時の評価、出棟時ビニール袋で覆う、尿道口ケア、サンプルポートからの尿採取) 修正
2019 年 8 月 28 日	第 2 章	II .針刺し・切創、皮膚・粘膜汚染発生時の対応(曝露者が医療従事者の場合) 10. 抗 HIV 薬予防服用のためのチェックリスト、説明同意書

		<p>11. 医療従事者における血液汚染事故時感染症検査説明同意書</p> <p>12. 感染症検査に関する説明同意書</p> <p>Ⅲ. 針刺し等汚染事故発生時の対応(曝露者が患者の場合)</p> <p>4. 患者における血液汚染事例発生時感染症検査説明同意書</p> <p><b>修正</b></p>
	第3章	<p>I. 薬剤耐性菌に関する感染対策</p> <p>1. 入院時、入院中の細菌検査について 監視培養(タイミング) <b>修正</b></p> <p>II. 薬剤耐性菌対策</p> <p>10)患者・家族への説明 <b>修正</b></p>
	付録	付録:病棟及び外来部門における薬品管理 <b>追加</b>
2020年9月1日	第1章	Ⅲ. 抗菌薬の使用基準と適正使用(抗菌薬マニュアル移行のため削除) <b>削除</b>
	第6章	<p>II. ウイルス感染症予防策</p> <p>6. インフルエンザ 8)2次感染予防対策(2) 接触者の対応 予防内服について <b>修正</b></p>
	付録	<p>院内消毒薬一覧(低水準・中水準) <b>修正</b></p> <p>院内抗菌薬一覧(注・内) <b>修正</b></p> <p>抗菌薬の適正使用に関する指針 <b>破棄</b></p>
2020年11月1日	第10章	<p>II. 中央診療施設</p> <p>4. 材料部</p> <p>8)滅菌物の保管 <b>追記</b></p> <p>9)無菌性有効期間 <b>修正</b></p>
2022年3月1日	第9版発行	<b>全面改訂</b>
2022年4月1日	指針	<p>2. 感染対策のための組織体制等に関する基本的事項 <b>修正</b></p> <p>7. 抗菌薬適正使用に関する基本指針 <b>追記</b></p> <p>8. 地域の医療施設等との連携に関する基本方針 <b>追記</b></p>
2022年8月1日	第12章	<p>Ⅲ. 特殊診療施設</p> <p>8. リハビリテーション部 <b>修正</b></p>
	付録	<p>感染管理ベストプラクティス(血液培養採取)、チェックリスト(血液培養採取)、感染管理ベストプラクティス(CV ポート針 穿刺・固定)、チェックリスト(CV ポート針穿刺・固定)、チェックリスト(CV ポート針抜針)、連絡先一覧) <b>修正</b></p>
2022年10月3日	第1章	<p>I. 感染予防策の実際</p> <p>1. 標準予防策 <b>修正</b></p> <p>2. 感染経路別予防策 <b>修正</b></p> <p>II. 洗浄、消毒、滅菌</p> <p>1. 洗浄、消毒、滅菌の定義 <b>修正</b></p> <p>2. スポルディング分類と医療器材の処理 <b>修正</b></p>
	第3章	<p>I. 薬剤耐性菌に関する感染対策</p> <p>1. 入院時、入院中の細菌検査 <b>修正</b></p> <p>3. 他部門との情報共有 <b>修正</b></p> <p>5. 退院・転院時の情報提供</p> <p>II. 薬剤耐性菌対策</p>

		<p>1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA) <b>修正</b></p> <p>4. バンコマイシン耐性腸球菌(VRE) <b>修正</b></p> <p>5. 多剤耐性緑膿菌(MDRP) <b>修正</b></p> <p>6. 多剤耐性アシネトバクター(MDRA) <b>修正</b></p> <p>7. カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE) <b>修正</b></p>
	第12章	<p>IV.その他</p> <p>2. 薬剤部 <b>追加</b></p>
2022年12月1日	第12章	<p>III. 特殊診療施設</p> <p>8.リハビリテーション部 <b>修正</b></p>
	付録	<p>感染管理ベストプラクティス(簡易懸濁法)、チェックリスト(簡易懸濁法) <b>追加</b></p>
2023年3月8日	第6章	<p>III. ウイルス感染症予防策</p> <p>6.インフルエンザ <b>修正</b></p>
2023年5月1日	第1章	<p>I.感染予防策の実際</p> <p>1. 標準予防策</p> <p>3)具体的な対策</p> <p>(11)医療廃棄物の取り扱い</p> <p>・令和5年4月1日付けで、紙おむつの廃棄が一般廃棄物に変更されたことを受けて、紙おむつの廃棄方法を変更</p> <p><b>血液汚染や感染症のない患者使用後の紙おむつは「一般廃棄物」へ変更</b></p> <p>・輸液の残液がある状態での感染性あるいは非感染性廃棄物への破棄方法を変更</p> <p><b>残液のある輸液は、ビニール袋に密封して破棄へ変更</b></p>